報道資料　No.1

八代市
YATSUSHIRO

令和4年5月26日
企画政策課

八代市SDGsモデル事業等の取組

～食をテーマとした3つのモデル事業等により展開～

八代市は、5月20日、内閣府より「SDGs未来都市(※1)」及び「自治体SDGsモデル事業(※2)」に選定されました。

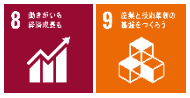
この選定を受け、本市では、人・企業・地域をつなぐ「SDGsフードマッチングプロジェクト」と題して、本市の豊富な農産物による「食」をテーマに、特産品を活用した新商品の開発、食品ロスを削減するフードドライブ(※3)、交通事業者と連携した貨客混載事業などのモデル事業等を通じて、2030 年のあるべき姿である「新たなつながりの創出で、持続可能な人と企業に選ばれるまち」に向け、SDGsの取組みを推進します。

なお、これらの取組に当たっては、2050 年のカーボンニュートラルに向け、再生可能エネルギーへの転換による環境負荷の低減等を見据えながら実施します。

1．SDGs モデル事業(SDGsフードマッチングプロジェクトの取組)

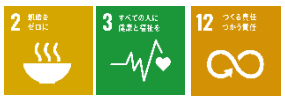
① ビジネスマッチングによる高付加価値化促進事業

八代地域の特産品生産者、加工業者、販売会社のそれぞれの強みを活かし、各企業をマッチングさせることにより特産品を使った新商品開発・高付加価値化を促進する事業。



② もったいない食品利活用推進事業

家庭等にある今後食べる予定のない食品等を持ち寄り、それを必要とする人たちへ提供するフードドライブの取組や、廃棄処分される食品の有効活用のためのマッチング等を推進することにより食品ロスを削減し、環境負荷を低減させる事業。



③ 貨客混載による買い物支援事業

買い物が不便な山間部の交通空白地域において、乗客がタクシー等を利用する際、移動先で乗客が用事を済ませる間に、運転手が代わりに買い物を行い、帰りに乗客と品物をまとめて同時に運ぶことで買い物を支援する事業。

2. 普及・啓発事業　SDGs宣言制度の創設等

SDGsに積極的に取り組む事業者、団体等が宣言を行うことで、社会貢献企業としての地位確立や対外的な認知度の向上を図るとともに、これらの企業同士がつながることで、先進的なSDGsの取組を市内全域に普及・展開させる。

更に、市民向けシンポジウムの開催や市職員研修・勉強会等を通じて意識啓発を実施。

3. カーボンニュートラルの実現に向けた主な取組

再生可能エネルギー導入目標等の策定を行うとともに、公共施設（避難所等）への太陽光発電設備や蓄電池の導入等によるレジリエンスの向上及び再生可能エネルギーへの転換による環境負荷の低減策の検討等を実施。

※1　ＳＤＧｓ未来都市　SDGs の理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として、国（内閣府）が選定するもの。

※2　自治体ＳＤＧｓモデル事業　SDGs 未来都市に選定された都市のうち、多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における自律的好循環の形成が見込める、特に先導的な事業。

※3　フードドライブ　家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動。

問合せ　八代市企画政策課　政策係　　担当：宮崎・土田
TEL　0965－33－4104